

取扱説明書

保証書付

大阪ガス

ガスふろ給湯器(シャワー付き・FFタイプ)

品名：531-R936型 531-R937型

型式名：SR-652FF

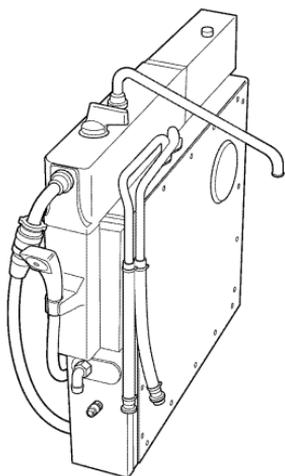
この取扱説明書には、ガスふろ給湯器(シャワー付き・FFタイプ)を安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。

本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

この取扱説明書の裏表紙と55ページが保証書になっています。保証書にてお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。



特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」です。所有者登録と法定点検が必要です。詳しくは2～5ページをご覧ください。

本書を紛失されたときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡の上、お買い求めください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

長期使用製品安全点検制度に関するお願い ……2

安全のための注意

必ずお守りください ……6

各部の名前とはたらき

機器本体 ……15
リモコン ……16
漏電ブレーカー ……17

使いかた

初めて使うとき ……18
お湯を使うとき ……20
台所などでお湯を使うとき ……23
お風呂を沸かす前 ……24
お風呂を沸かすとき ……26
お風呂をあつくるとき ……30
お風呂を少しぬるくするとき ……31
お風呂のお湯をふやすとき ……32
現在時刻を合わせるとき ……33
予約運転をするとき ……34
保温時間を変えるとき ……36
お風呂のお湯を抜いたあと ……37
お知らせ音の音量を変えるとき ……38

凍結予防

凍結による破損を防ぐために/長期使用しないとき ……40
再び使用するとき ……43

日常の点検とお手入れ

点検のポイント・お手入れのしかた ……44

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に ……47
こんな場合は故障ではありません ……48
故障表示 ……51

アフターサービス

アフターサービスについて ……52

仕様

仕様 ……53

用語集

用語集 ……54

保証書

保証書 ……55～裏表紙



長期使用製品安全点検制度に関するお願い

長期使用製品安全点検制度とは…

長期使用製品安全点検制度とは、平成21年4月1日施行の改正消費生活用製品安全法（消安法）に基づいた「消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高い消費生活用製品について、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度」です。

この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。所有者登録と法定点検が必要です。

1. 所有者登録をしてください。

付属の「所有者票（返信用）」に必要事項を記入して投函してください。

2. 点検時期になったら、点検通知が届きます。

所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。

3. 法定点検を申し込み、法定点検を受けてください。

この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、5ページをご覧ください。

※詳しくは、以下5ページまでをご覧ください。

消費生活用製品安全法（消安法）とは…

消費生活用製品安全法（消安法）とは、「消費生活用製品による一般消費者の生命又は身体に対する危害の防止を図るため措置を講じ、これにより一般消費者の利益を保護することを目的とする」法律です。

特定保守製品とは…

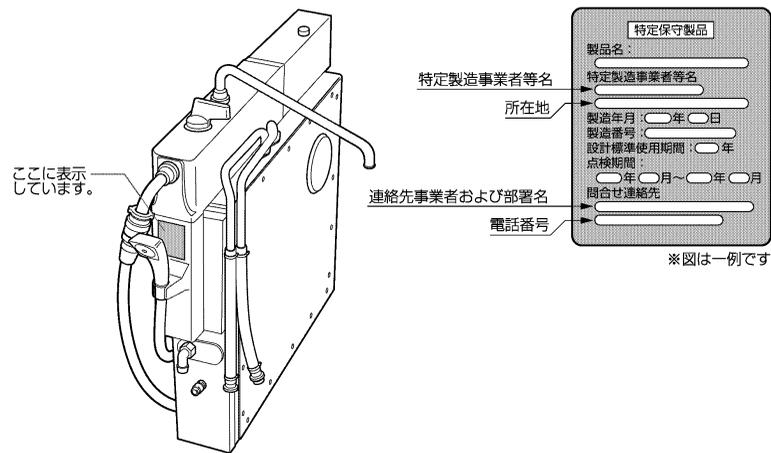
特定保守製品とは、「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

法定点検（有料）について

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に法定の点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。この機器の前面に表示してある点検期間になったら、忘れずに法定点検を受けてください。
- なお、法定点検は、その時点で機器が点検の基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。法定点検を受けた後もこの機器を継続して使用する場合は、点検の総合判定に基づいた点検時期（点検員が点検時にお知らせします）に再度点検を受けることが、この機器を安全にお使いいただくために必要となりますのでご注意ください。

機器の表示について

- 特定保守製品は、機器本体に「特定保守製品」・製品名・特定製造事業者等名・製造年月・製造番号・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先を表示しています。機器前面の、図に示す位置にこれらが表示されていますので確認してください。



所有者登録について

- 特定保守製品の所有者は、この機器の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。付属の「所有者票（返信用）」に必要事項を記入して投函してください。また、特定保守製品の所有者は、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、その情報を提供することが求められています（消安法第32条の8第2項）。速やかに5ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。登録内容の変更を行わないと点検の通知が届かなくなりますので、必ずお知らせください。
- 所有者登録でお知らせいただいた情報は、消安法・個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、リコールなど製品安全に関する重要なお知らせや点検の通知・適切な保守・点検の実施以外には使用いたしません。

【所有者登録の方法】

- 所有者票（返信はがき）での登録

所有者票（返信用）（返信はがき）に必要事項を記載して投函してください。

紛失などにより所有者票がお手元がない場合、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、5ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

点検の通知について

- 所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。

設計標準使用期間について

- この機器は、設計標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災などのおそれがあります。
- 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）で適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、機種ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。保証書にある保証期間とは異なりますのでご注意ください。

設計標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計標準使用期間は、製造年月を開始時期とし、給湯部分についてはJIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6標準加速モード」に、ふろ部分については（社）日本ガス石油機器工業会規格 JGKAS C 301「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件及び加速モード並びにその試験条件」の「4. ふろがまの標準加速モード及び試験条件」に、それぞれ従って以下の標準使用条件を想定して耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終了時期として設定しています。

給湯の標準使用条件

家族構成	4人世帯
用途	洗面・台所・湯はり・シャワー
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

ふろの標準使用条件

家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろの追いだし
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
浴槽の水量	180リットル
ふろの沸かし上げ回数	1回/日
追いだし回数	2回/日
沸かし上げ温度	40℃
1年使用日数	365日

- この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用すると、設計標準使用期間より早く経年劣化を起し、重大事故となるおそれがありますので、機器に表示している点検期間より早く点検を受けてください。
- この機器は一般家庭用です。業務用（ホテル・料理店・美容院などで使用）など、高頻度・長時間のご使用は、設計標準使用期間より早く経年劣化を起す可能性があります。これに該当するような場合は、5ページ「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

点検期間について

- この機器の点検期間は、機器の前面に表示されています（3ページ「機器の表示について」参照）。
- この機器は、設計標準使用期間（10年）の終了時期の前後1年間を点検時期として設定しています。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先

- この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、下記へお願いいたします。

大阪ガス お客さまセンター

TELフリーダイヤル **0120-0-94817**

受付時間（月～土）： 9:00～19:00

（日・祝）： 9:00～17:00

- 点検料金について
点検費用は、お客さまにご負担いただくこととなります。点検料金については、上記お問い合わせ先にご確認ください。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途、整備費用が発生します。なお、点検料金の設定基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

- 法定点検は、特定製造事業者等である弊社の社員または弊社が認定した委託業者が行います。

整備用品の保有期間

整備用品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。

部品名	保有期間
点火・消火に関する部品	点火プラグ・イグナイター
ガス・水通路に関する部品	パッキン・Oリング
安全装置に関する部品	フレームロッド・パイメタルスイッチ・温度ヒューズ・電流ヒューズ・漏電ブレーカー・サーミスター
	製造打ち切り後11年

日常の点検・お手入れについて

- この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れを行ってください。
- 日常の点検・お手入れのしかたについては、44ページの「日常の点検とお手入れ」を参照してください。
- 点火不良・異音・異臭・使用中に火が消えるなど、機器の異常に気付いたときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

必ずお守りください

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

絵表示の意味



危険

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、もよりの大阪ガスへご連絡ください。



- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺で電話を使用しないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



危険

給排気筒トップの外れや詰まりに注意

- 給排気筒トップの外れ、損傷や鳥の巣などによる詰まりに気づいたときは、すぐに使用をやめ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。このまま使用すると、排気が屋内に漏れたり不完全燃焼の原因となります。



工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

警告

ガスの種類と電源を確認

- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
- 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。異なるガスや電源で使用すると、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。移設や移転の場合は、販売店／転居先のご担当者（供給業者）へご相談ください。P52「サービスを依頼されるとき」



ガスの接続について

- この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

改造・分解禁止

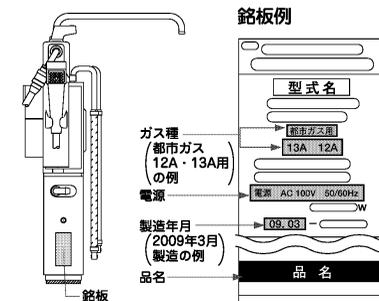
- 絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や火災・故障の原因となります。
- シャワーヘッドやシャワーホースは、市販されているものや他機種のものに交換しないでください。思わぬ事故の原因となります。

給排気筒トップに囲いをしない（共用給排気ダクトで給排気している場合以外）

- 増改築などによって給排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや液板などで囲いをしないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因となり大変危険です。

屋外に設置しない

- この機器は浴室内設置型です。屋外に設置しないでください。また、排気ダクトへ排気する場合を除き、給排気筒トップは屋外に面した壁面の外に出るようにしてください。機器に雨水が浸入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。



必ずお守りください

警告

お子様に対する注意

- 浴室で遊ばせないでください。
お風呂を沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 子供だけで入浴させたりお湯を使わせたりしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽に潜ったりしないように注意してください。
思わぬ事故の原因となります。

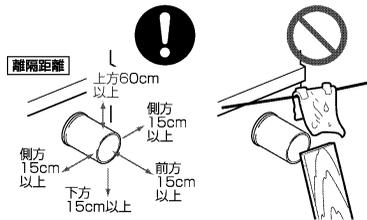
お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子さまには一人でお湯を使わせないでください。
 - ・お湯を一度止めて再度使用するとき
 - ・高温のお湯を使った直後
 - ・湯量（お湯の出具合）を急に少なくした場合
 - ・おいだき運転終了直後
 - ・夏期など水温の高い時期にお湯を少しだけ使おうとした場合
 - ・トイレの水を流すなどして、給水圧が変化した場合
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- 給湯栓で湯量（お湯の出具合）をしぼりすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりします。特に水温が高いときは、給湯温度を低くしても湯量が少なく熱いお湯が出る場合があります。こんなときは湯量を増やすか、水と混ぜてお使いください。
- 給湯使用中は出湯管が熱くなりますので、やけどにご注意ください。

可燃物に注意

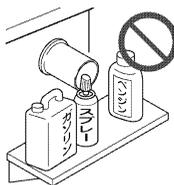
(共用給排気ダクトで給排気している場合以外)

- 給排気筒トップの周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物等）を置かないでください。
- 給排気筒トップは、周囲のものとは常に下記の離隔距離を確保してください。



引火のおそれのあるものの使用禁止 スプレー缶厳禁

- 機器や給排気筒トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。
引火して、火災のおそれがあります。
- 機器や給排気筒トップ、の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



使用中の外出・就寝禁止

- 給湯したまま、就寝・外出はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。

入浴時のご注意

- 浴槽に潜らないでください。
思わぬ事故の原因となります。

警告

浴槽のふたに関する注意

- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。ふたが外れておぼれたり、やけどをするなど思わぬ事故の原因となることがあります。

電気事故防止のために

- 漏電ブレーカー・電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火の恐れがあります。
- 漏電ブレーカーは確実にさし込んでください。さし込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。
- 傷んだ漏電ブレーカー・電源コードは使用しないでください。
- 感電の恐れがありますので、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。
- 漏電ブレーカーのコンセント差込部の刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



感電注意

排水口の詰まりに注意

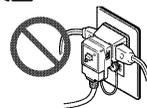
- 浴室の排水口はこまめに掃除してください。
排水口が詰まると機器内に水が浸入し、点火時に炎があふれて火災や機器損傷の原因となります。



浴室の排水口

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超える、発熱による火災の原因となります。



無理な力を加えない

- 機器本体や付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。
けがや故障の原因となります。機器に無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

他の機器との接続について

- この機器を太陽熱温水器に接続しないでください。
高温のお湯が出てやけどをすることがあります。

入浴するときはやけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
浴槽内のお湯の上下に温度差が生じることがありますので、お湯を十分にかきまぜてから確認してください。
- 追いだきのときは循環口が熱くなったり循環口から熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。



高温注意



温度確認

給排気筒トップがシートで覆われているときは使用しない

(共用給排気ダクトで給排気している場合以外)

- 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで給排気筒トップを覆うことがあります。このような場合は使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

アース必要

- この機器はアースが必要ですので、アース線がアース端子に接続されているか確認してください。
アース端子がない場合は有資格者によるアースの取り付けが必要です。



必ずお守りください

警告

異常時の処置

地震・火災などの緊急のときには

- 機器の異常（給排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、右記の処置をして、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。



☞ P52 「サービスを依頼される時」

- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは・・・

☞ P6 「ガス漏れ時の処置」

1		運転スイッチを「切」にする
2		給湯栓を閉じる
		出湯栓切替レバーを「止」に合わせる
3		ガス栓・給水栓を閉じる
4		漏電ブレーカーを抜く

注意

用途について

- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワーおよびおふろ沸かし以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故の原因となります。

- 出湯管にホースをつながないでください。機器が破損することがあります。

機器や給排気筒トップでのやけどに注意

- 使用中、使用直後は機器や給排気筒トップとその周辺は高温になりますので、さわらないでください。また、機器と浴槽（または壁）との間には手を差し込まないでください。



接触禁止

給排気筒トップに指や棒を入れない

- 給排気筒トップに指や棒を入れないでください。けがや故障の原因となります。

電源コードを持って引き抜かない

- コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。



つららに注意

- 冬期は特に、給排気筒トップの下に立ち入らないでください。

積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下してけがの原因となります。

機器を廃棄する場合（乾電池に関する注意）

- 機器を取り替えた場合、これまでご使用になっていた機器は専門の業者に処理を依頼してください。

お客さまが処理をする場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正しく処理してください。

注意

積雪による給排気筒トップの閉塞に注意

- 積雪や、屋根から落ちた雪により給排気筒トップがふさがれないように注意してください。ふさがれそうなどときには、安全に注意して、除雪してください。

ふさがれると故障の原因となります。こんなときは・・・

☞ P52 「サービスを依頼される時」

- 屋根から落ちた雪が給排気筒トップをふさいだり破損するおそれのあるときは、屋根の雪止め工事を工事に依頼してください。

高温のお湯を水と混ぜて使うとき（給湯配管している場合）

- やけど防止のため、お湯を出すときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。（混合水栓タイプの場合）

出湯管に指を入れない

- 出湯管の先端に指を入れないでください。けがの原因となります。

お願い

リモコンの取り扱いに注意

- 浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 子どもがいたずらしないよう、注意してください。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因となります。

リモコンはテレビやラジオから遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。音声や画像が乱れることがあります。

水による着色について

- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタイルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

飲用・調理用を使うときは

- 機器内に長時間たった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

本体の上に金属製のものを置かない

- 本体の上にヘアピンや金属片を置かないでください。機器本体はステンレス製ですが錆びることがあります。

強化ガスホースの注意

- 強化ガスホースは、折れたりねじれたりしないようにしてください。また、機器の下を通したり、触れたりしないようにしてください。強化ガスホースがひび割れたり差し込み口がゆるくなった場合はガス漏れの原因になりますので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

温泉水や自家用井戸水や地下水を使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器を腐食させるおそれがありますので使わないでください。

適合する部品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

必ずお守りください

お願い

水栓について（給湯配管されているお宅）

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタート式水栓をご使用の場合はリモコンの給湯温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。



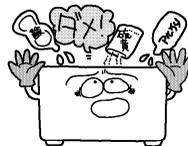
サーモスタート式水栓の例

入浴剤や洗剤などについて

- 硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。
- 熱交換器の腐食や故障の原因となります。異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。
- 使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
- 思わぬ事故や故障の原因となります。
- 入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。



入浴剤注意



運転停止時の注意

- 機器を使用中は、ガス栓を操作して消火しないでください。
- 機器を使用中は、漏電ブレーカーをコンセントから抜いて消火しないでください。

循環アダプターをタオルでふさがない

- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。
- 循環不良でおふろ沸かしができません。
- 浴槽内でタオルを使ったり、衣類やベットなどを洗わないでください。
- 毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。



循環アダプターをふさがない



燃焼排ガスについて

- 植物やベットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは、給排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- 変色・破損・腐食の原因となります。

増改築時の注意

- 給排気筒トップの周囲に塀などを設ける場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご相談ください。
- 塀などの形状・大きさ・給排気筒トップからの距離によっては、機器の正常な燃焼を妨げることがあります。

冬期または長期間使用しないとき

- 冬期は凍結予防をしてください。
 - 長期間使用しないときは、水抜きによる凍結予防をしてください。
- P40-42「凍結による破損を防ぐために」

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。
- 思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。



国内のみで使用する

お願い

雷時の注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、漏電ブレーカーを抜いてください。
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で漏電ブレーカーをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、漏電ブレーカーをコンセントにしっかり差し込んでください。



停電時のご注意

- 停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
 - 給湯中に停電するとお湯が水になります。ご注意ください。
 - 電力の供給が復帰したときに、現在時刻が遅れていたたり、給湯温度設定が変わっていることがあります。表示を確認して、必要に応じて調節してください。
 - 給湯中に停電した場合は、出湯栓切替レバーを「止」の位置に戻し、電力の供給が復帰するのをお待ちください。
 - 出湯栓切替レバーを「止」の位置に戻してから、電力の供給の復帰を待つと再度開かないと、給湯できません。
 - 冬期など凍結のおそれがある場合は、凍結予防をしてください。
- P40-42「凍結による破損を防ぐために」
- 自動湯はり途中で停止したときは、浴槽に水のない状態にして再開してください。

運転「切」で出湯栓切替レバーを開けたり給湯栓を開けたりしない

- 運転スイッチが「切」の状態に出湯栓切替レバーを開けないでください。
- 機器内配管に冷水が流れると、機器内が結露して機器の寿命を短くします。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を、リモコンの表示で確認してください。

断水時のご注意

- 断水すると使用できません（追いだすこともできません）。使用中に断水すると停止します。
 - 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
 - 故障表示が点滅することがあります。「運転」を「切」にして再度「入」にし、水の供給が復帰するまでお待ちください。
- P51「故障表示」
- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
 - 断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

機器に水をかけない

- むやみに水をかけないでください。
- 故障の原因となります。

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器やリモコンを洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 浴槽や洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

シャワーの取り扱いについて

- 浴槽や洗面器の中にシャワーヘッドを入れたまま長時間放置しないでください。
- 断水時など水圧が弱くなった場合に、機器内に逆流するなどして思わぬ故障の原因となることがあります。

出湯管の取り扱い注意

- 出湯管を手すりとして使用したり、タオルをかけたりにしないでください。
- 出湯管が破損することがあります。

電源を切らない

- 長期間ご使用にならない場合や機器の水抜きをした場合以外は、漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、分電盤のブレーカーを落としたりしないでください。

必ずお守りください

お願い

一般家庭用品です

- 業務用のような使用頻度の高い使い方をすると機器の寿命を短くします。

機器の設置状態についての確認

- 下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡し、設置場所を変更してください。
- ①機器は傾きなく設置されていますか？
- ②給排気筒トップは冷・暖房や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？ そうでないと、正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③棚の下など落下物の危険のあるところを避けて設置してありますか？
- ④メンテナンスできる場所に設置されていますか？ そうでないと、メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤給排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪で給排気筒トップが閉塞されることはありませんか？ 不完全燃焼の原因になります。

この機器は特監法対象機器です

- この機器は「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」で定める「特定ガス消費機器」です。「ガス消費機器設置工事監督者」もしくはその監督のもとでなければ取り付けできません。
- この機器には、工事完了後、工事責任者が法定ステッカーを貼付することになっています。貼付されていないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

法定ステッカー(例)

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

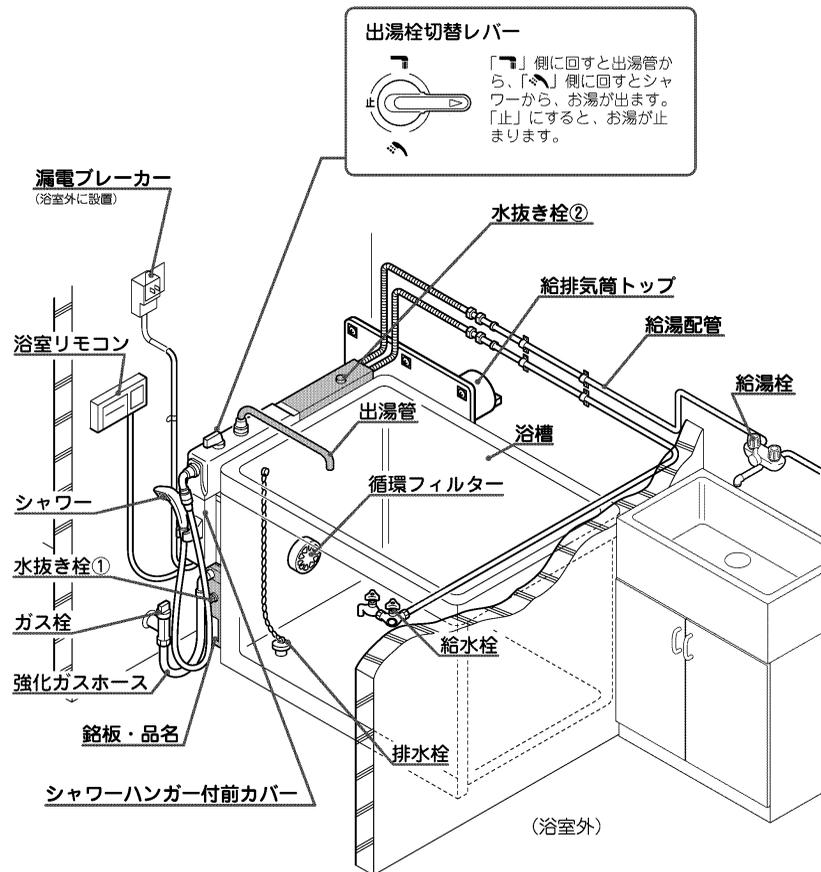


機器本体

各部の名前を確認してください。

イラストは531-R936型の設置例です。浴槽や給水栓の位置など、実際の設置状況とは異なることがあります。

531-R937型は浴槽が機器本体の左側に設置されます。

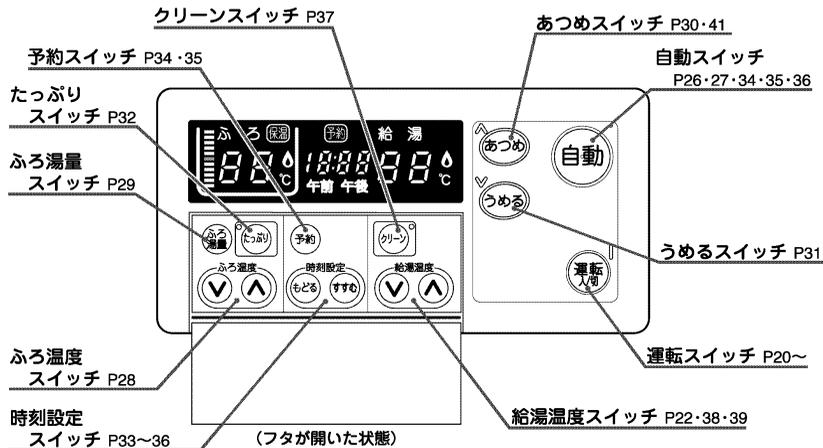


リモコン

リモコンの各部の名前を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。

浴室リモコン

フタで隠れないスイッチのそばに、指で触って識別するための凸起を設けてあります。



浴室リモコン表示部



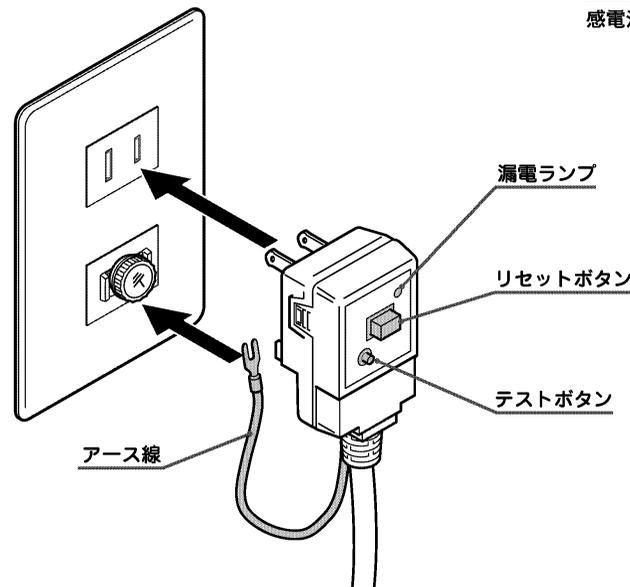
漏電ブレーカー

漏電ブレーカーの各部の名前を確認してください。
感電事故防止のため、取り扱いには注意してください。

📖 P9「電気事故防止のために」



感電注意



作動確認をしてください

- 機器に付属の漏電ブレーカーは、安全のため月に1度程度、作動確認をしてください。



作動確認

- 1 漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていることを確認します。
- 2 テストボタンを押し、漏電ランプが点灯すれば正常です。
- 3 リセットボタンを押して作動確認を終了します。漏電ランプが消灯します。

⚠️ 注意

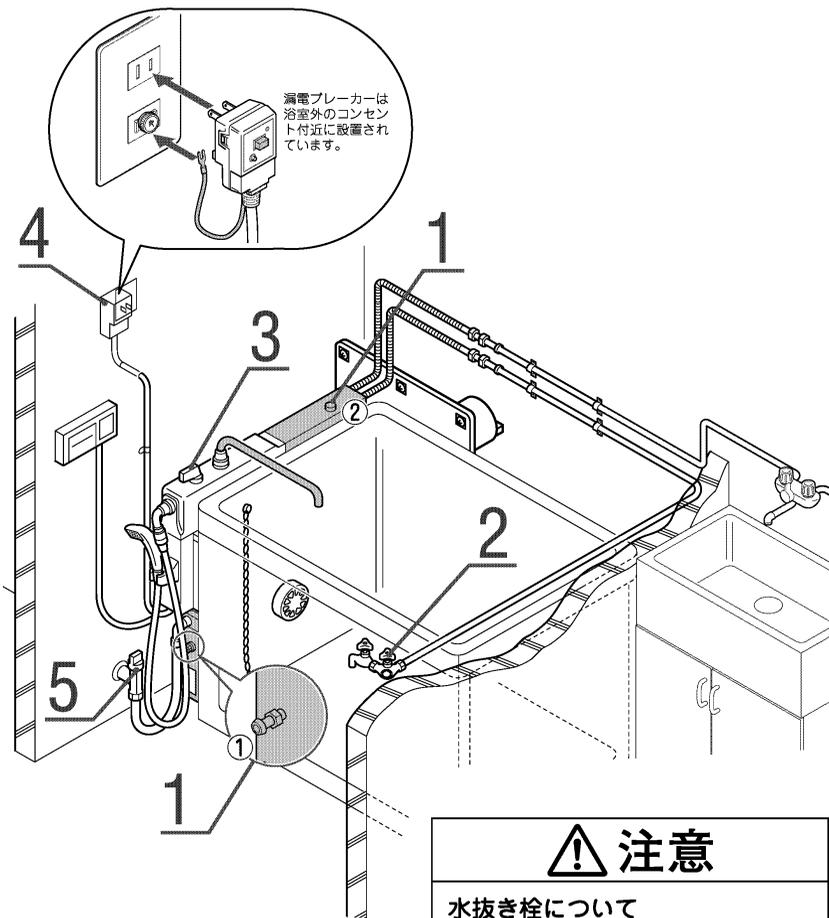
もし、漏電ランプが点灯したら…

- 機器本体に異常が見られない場合、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。
- 機器本体が水に浸っている場合、排水口の掃除をするなど冠水の原因を取り除き、水がひくのを待って、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。

上記の操作をしてもなお漏電ランプが点灯するようであれば、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

初めて使うとき

初めて使うときは次の準備が必要です。



漏電ブレーカーは浴室外のコンセント付近に設置されています。

⚠ 注意

水抜き栓について

- 水抜き栓①、②がゆるんだり外れたりした状態で使用すると、お湯が噴き出してやけどをするなど、けがや事故の原因となる恐れがあります。

📖 P43 「再び使用するときのご注意」

1 水抜き栓①および水抜き栓②が閉じていることを確認する。

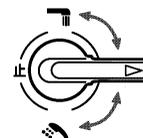
2 全ての給湯栓が閉じていることを確認し、給湯栓を全開にする。

左いっぱい回します。



3 出湯栓切替レバーの▽を☼または☼に合わせ、水が出ることを確認したら「止」に戻す。

☼に合せると出湯管から☼に合せるとシャワーからお湯が出ます。
給湯配管をしている場合は、配管先の給湯栓も開けて水が出ることを確認します。



“カチッ”となるまで回す

4 アース線をアース端子に接続し、漏電ブレーカーをコンセントに差し込む。

📖 P17 「漏電ブレーカー」

5 ガス栓を全開にする。

左いっぱい回します。

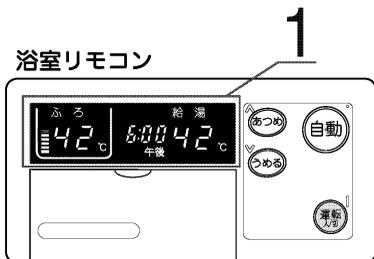


お湯を使うとき

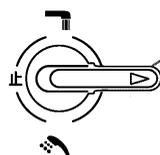
浴室リモコンで操作します。

準備

1. を押し「入」にする。
表示部が点灯します。



出湯栓切替レバー



1 給湯温度を確認する。



【給湯温度(例:42℃)】

給湯温度を変えるときは・・・
 P22「給湯温度の替えかた」

2 出湯栓切替レバーの▽を または に合わせる。



【燃焼ランプ点灯】

に合せると出湯管から に合せるとシャワーからお湯が出ます。

3 使用後、出湯栓切替レバーを「止」に戻す。



【燃焼ランプ消灯】

お湯が止まります。

あつめ運転をしているときに お湯を使うと・・・

- 給湯栓やシャワーから冷たい水が出て、お湯になるまでに時間がかかることがあります。また、あつめ運転に時間がかかることがあります。

循環ポンプの音がする？

- この製品が内蔵している循環ポンプは、その性能を維持するために、追いだきをしていなくても、ときどき循環ポンプが作動するように設計されています。そのため、以下のような現象が起こりますが異常ではありません。

※出湯管またはシャワーからお湯が出る際、ごく短時間、循環ポンプの作動する音がする場合があります。このとき、循環口からごく少量の水が出る場合があります。

※ を「入」から「切」にした際、ごく短時間、循環ポンプの作動する音がします。



警告

やけどに注意

- お湯を使用している本人以外（特に小さなお子さまなど）は給湯温度を変えないでください。

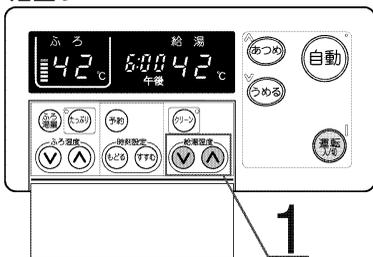


- お湯を使うときは給湯温度を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときやあつめ運転終了直後は、一瞬熱いお湯や冷たい水が出る場合がありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。

お湯を使うとき (給湯温度の変えかた)

お買い上げの際、給湯温度は42℃に設定してあります。

浴室リモコン



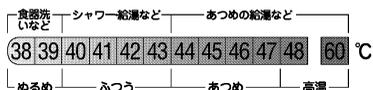
1 給湯温度の▼▲で給湯温度を設定する。

- ▲を押すごとに温度が高くなります。
- ▼を押すごとに温度が低くなります。



【給湯温度(例: 43℃)】

給湯温度のめやす



▲ を押し続けると45℃までは連続で変わります。46℃以上にするときは押しなおしてください。60℃にすると、ピピッとお知らせ音が鳴ります。

▼ を押し続けると連続で変わります。

●表示している温度と実際の温度は、配管条件などにより必ずしも一致しません。目安としてください。

●一度設定した給湯温度は変更するまで記憶しています。

ただし60℃に設定されていたときに停電等があると、復帰後はやけど防止のため42℃に変わります。

●サーモスタット水栓をご使用の場合は…

☞P12「水栓について」

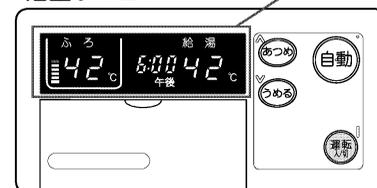
台所などでお湯を使うとき (給湯配管をしている場合)

給湯配管をしていると、台所や洗面所など浴室以外の場所でもお湯が使えます。

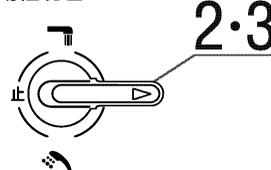
準備

1. 電源ボタンを押して「入」にする。
表示部が点灯します。

浴室リモコン



出湯栓切替レバー



1 給湯温度を確認する。



【給湯温度(例: 42℃)】

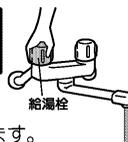
給湯温度を変えるときは…

☞P22「給湯温度の変えかた」

2 給湯栓を開ける。



【燃焼ランプ点灯】



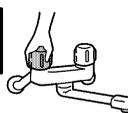
しばらくするとお湯が出ます。

浴室でお湯を使うと、給湯配管先では流量(お湯の出具合)が少なくなることがあります。

3 給湯栓を閉じる。



【燃焼ランプ消灯】



お湯が止まります。

警告

やけどに注意

- お湯を使用している本人以外(特に小さなお子さまなど)はお湯の温度を変えないでください。
- お湯を使うときは必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。

- お湯を一度止めて再度使用するとき、一瞬熱いお湯が出る場合がありますのでご注意ください。

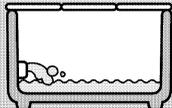


お風呂を沸かす前に

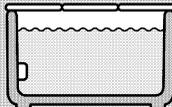
自動を押すだけで、お風呂沸かしは全てお任せです。

残り湯がない場合

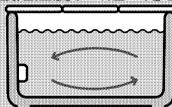
お湯はリスタート



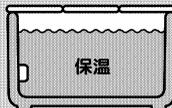
設定湯量でストップ



設定温度まで追いき



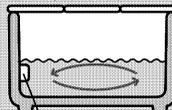
温度が下がったら
自動で追いきします。



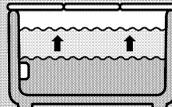
※
さめていないか30分おき
にみはります。

残り湯がある場合

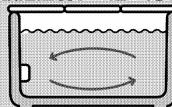
設定温度まで追いき
(残り湯が循環口より
上にあるとき)



設定湯量まで足し湯



設定温度まで追いき



温度が下がったら
自動で追いきします。



※
さめていないか30分おき
にみはります。

温度は42℃
湯量はレベル6
ネ!



あとは
ほくに
おまかせ!

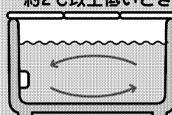
●残り湯があるときは、
沸き上がりの湯量が
設定湯量と異なるこ
とがあります。

こんなこともできます

残り湯が循環口より上にあるとき

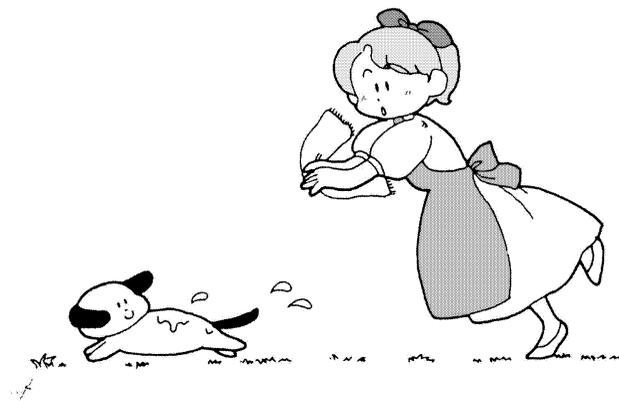
(あつめ)を押すと…

設定温度まで追いき
(残り湯が設定温度より
約2℃以上低いとき)



足し湯はしません。
保温はしません。

※給湯を使用していると、時間がずれることがあります。

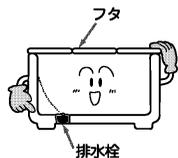


お風呂を沸かすとき (自動運転)

自動を押すだけで、お風呂沸かしは全てお任せです。

準備

1. 浴槽の排水栓を閉じる。
2. 浴槽のフタをする。



3. 自動を押し「入」にする。
表示部が点灯します。



1 ふろ温度とふろ湯量を確認する。



【ふろ温度(例: 42°C)】
【ふろ湯量(例: レベル6, 180リットル)】

ふろ温度、ふろ湯量を変えるときは...

- ▶ P28 「ふろ温度の変えかた」
- ▶ P29 「ふろ湯量の変えかた」

2 自動を押す。



【ふろ燃焼ランプ点灯(追いだき中)】
【給湯燃焼ランプ点灯(お湯はり中)】

しばらくして循環口からふろ温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると追いだきし、ふろ温度まで沸かします。

お風呂が沸き上がると...



【保温ランプ点灯】

リモコンが約10秒間ピピピピと鳴ってお知らせします。約4時間保温を続けます。保温時間を変えるときは...

- ▶ P36 「保温時間を変えるとき」

自動運転について

- 次のようなときは設定した湯量にならないことがあります。
 - ・ 残り湯が循環口より下にあるとき。残り湯の分だけお湯の量が増えます。
 - ・ 残り湯が循環口より上にあつて、設定温度に近いとき。お湯はりしません。
 - ・ 残り湯が循環口より上にあるときに自動を押した場合、機器はまず、あとどのくらい湯はりをすれば設定湯量になるかをしばらくのあいだ確認します。その最中に給湯やシャワーを使用すると、設定湯量にならないことがあります。

※残り湯が循環口より上にあるときは、沸き上がりの湯量があり、そのときどきの条件で多少変動することがあります。

- お湯はり中に給湯やシャワーを使うと浴槽へのお湯はりは一時停止します。このときのお湯の温度は給湯温度に従います。給湯やシャワーの使用をやめると再びお湯はりします。

※ふろ温度設定や機器に供給される水の温度によっては、給湯やシャワーを使用してもお湯はりを停止しないで、ふろ温度のお湯が出湯することがあります。

- 保温中でもふろ温度を変えることができます。この場合、次の検温時(30分おき)まであつく(ぬるく)なりません。すぐにあつく(ぬるく)したいときは...

- ▶ P30 「お風呂をあつくするとき」
- ▶ P31 「お風呂を少しぬるくするとき」

- 自動運転をやめるときは、もう一度自動を押してください。

残り湯を湯量を変えずに沸かしなおすとき

- 残り湯が循環口より上にあるとき(あつく)を押すと、湯量を変えずにお湯をあつくすることができます。
- ▶ P30 「お風呂をあつくするとき」

注意

やけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- 追いだきのときは循環口から熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。



高温注意

お願い

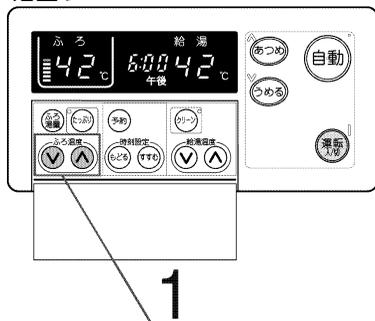
自動運転について

- お湯はりの間は機器がお湯の量を計算します。お湯はりの間(リモコンからお知らせ音が出るまで)は入浴したり、お湯をかき回したりしないでください。設定した温度・湯量にならないことがあります。

お風呂を沸かすとき (ふろ温度の変えかた)

お買い上げの際、ふろ温度は42℃に設定してあります。

浴室リモコン



1

1 ふろ温度の(下) (上) で ふろ温度を設定する。

- (上) を押すごとに温度が高くなります。
- (下) を押すごとに温度が低くなります。



【ふろ温度(例：43℃)】

ふろ温度のめやす

38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 °C

ぬるめ ふう あつめ

(上) を押し続けると45℃までは連続で変わります。46℃以上にするときは押しなおしてください。

(下) を押し続けると連続で変わります。

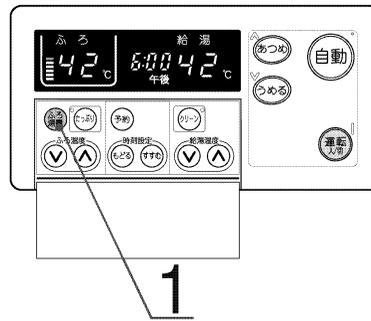
●表示している温度と実際の温度は必ずしも一致しません。目安としてください。

●一度設定したふろ温度は変更するまで記憶しています。

お風呂を沸かすとき (ふろ湯量の変えかた)

お買い上げの際、ふろ湯量はレベル6 (180リットル) に設定してあります。

浴室リモコン



1

1 (湯量) でふろ湯量を設定する。

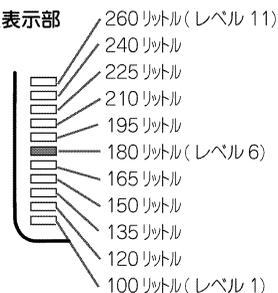
(湯量) を押すごとに湯量のめもりが上がります。レベル11の次はレベル1に戻ります。



【ふろ湯量(例：レベル8. 210リットル)】

ふろ湯量のめやす

ふろ湯量表示部
拡大図



●表示しているレベルと実際の湯量は必ずしも一致しません。目安としてください。

●一度設定したふろ湯量は変更するまで記憶しています。ただし設定が記憶されるまで約10秒かかります。すぐに(切)を「切」にすると記憶できません。

●容量の小さい浴槽の場合、湯量を多く設定するとお湯があふれることがありますのでご注意ください。

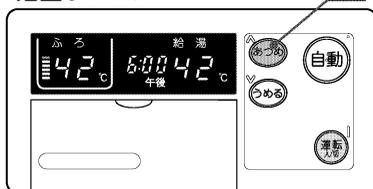
お風呂をあつくするとき

浴室リモコンの **あつめ** を押します。浴槽のお湯の温度がふろ温度より約2℃以上低いときはふろ温度まで沸かし、その他の場合は約2℃だけ沸かします(最高48℃まで)。

準備

1. **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します。

浴室リモコン



1 **あつめ** を押す。



【ふろ燃焼ランプ点灯】

しばらくして追いたがが始まります。
(例)
ふろ温度が42℃に設定されているとき
あつめ を押すと・・・

- ・浴槽のお湯の温度が20℃のときは
→42℃まで沸かします
- ・浴槽のお湯の温度が41℃のときは
→43℃まで沸かします

あつめ運転について

- 浴槽のお湯の量が十分でないときは、足し湯をするため、追いたが開始までに時間がかかります。足し湯をしても湯量が十分でないときはリモコンに故障表示「252」が点灯します。こんなときは浴槽にお湯を足してから操作してください。
- あつめ** を押した後ふろ温度を変えたときは、ふろ温度までの追いたがとなります。
- 保温中でもあつめ運転ができます。あつめ運転終了後30分たつと、再びふろ温度での保温に戻ります。
- あつめ運転中に給湯やシャワーを使おうとすると、冷たい水が出て、お湯になるまでに時間がかかることがあります。
- 給湯やシャワーを使用中に **あつめ** を押した場合、給湯やシャワーが優先されます。給湯やシャワーの使用が終わった後にあつめ運転が始まります。
- あつめ運転をやめるときは、もう一度 **あつめ** を押してください。

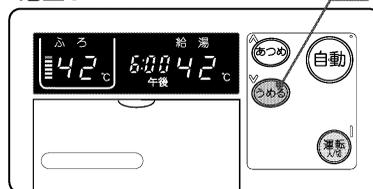
お風呂を少しぬるくするとき

浴室リモコンの **うめる** を押すと約10リットルの水が足され、お湯の温度が少し下がります。

準備

1. **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します。

浴室リモコン



1 **うめる** を押す。

約10リットル水を足します。

うめる運転について

- うめる** を押すと水位が上がりますので、浴槽の水位がもともと高いときはお湯があふれることがあります。
- 保温中でもうめる運転ができます。うめる運転終了後30分たつと、再びふろ温度での保温に戻ります。
- 給湯やシャワーを使用中は **うめる** を押しても水を足しません。給湯やシャワーの使用をやめると水を足します。
- うめる運転をやめるときは、もう一度 **うめる** を押してください。

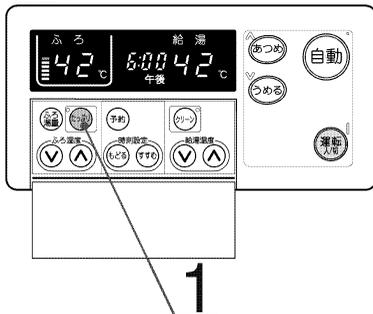
お風呂のお湯をふやすとき

浴室リモコンの(たっぶり)を押すとふろ温度のお湯が約20リットル足され、お湯の量がふえます。

準備

1. (運転) を押し「入」にする。
表示部が点灯します。

浴室リモコン



1 (たっぶり) を押す。



【燃烧ランプ点灯】

ふろ温度のお湯を約20リットル足します。

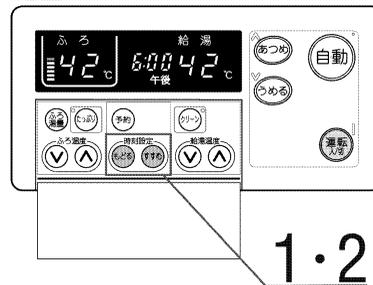
たっぶり運転について

- (たっぶり) を押すと水位が上がりますので、浴槽の水位がもともと高いときはお湯があふれることがあります。
- 保温中でもたっぶり運転ができます。
- 給湯やシャワーを使用中は(たっぶり) を押してもお湯を足しません。給湯やシャワーの使用をやめるとお湯を足します。
- たっぶり運転をやめるときは、もう一度(たっぶり) を押してください。

現在時刻を合わせるとき

時刻合わせは(運転) の「入・切」に関係なく操作できます。

浴室リモコン



1 (すすむ) または (もどる) を約1秒間押す。



【時刻表示点滅】

2 (すすむ) または (もどる) で現在時刻を合わせる。

(すすむ) (もどる) を押しごとにそれぞれ1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ連続して変わります。



【例：午後2時35分】

約10秒間そのままにしておくと設定完了となり、時刻表示が点滅から点灯に変わります。

時刻合わせについて

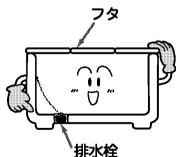
- 一度設定した時刻は変更するまで記憶していますが、停電または電源プラグを抜いたときは時刻がずれますので設定しなおしてください。
- 予約運転中は時刻合わせできません。
- 現在時刻は(運転) の「入・切」に関係なく表示されます。

予約運転をするとき

予約した時刻に入浴できるように機器が自動でお風呂を沸かします。

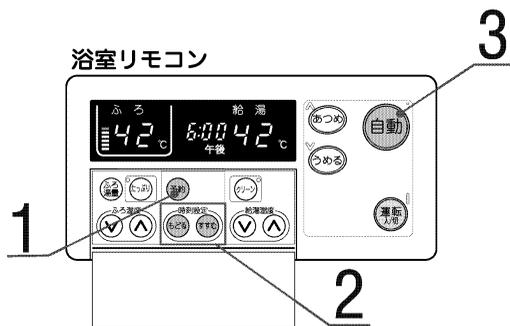
準備

- 1.浴槽の排水栓を閉じる。
- 2.浴槽のフタをする。



3. **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します。

- 4.ふろ温度・ふろ湯量・
現在時刻を確認する。



予約時刻とは・・・

- お風呂の沸き上がり時刻のことです。
予約時刻にお風呂が沸き上がるように、その60分前から自動運転を始めます。

- 1 **予約** を約1秒間押す。



【予約ランプ点灯】
【予約時刻点滅(例：午後7時)】

前回設定した予約時刻が表示されます。

- 2 **すむ** または **もどる** で予約時刻を設定する。



【例：午後9時】

すむ **もどる** を押すごとにそれぞれ1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ連続して変わります。

- 3 予約時刻が点滅している間に **自動** を押す。



【予約時刻点灯】

予約時刻の60分前になると自動運転が始まります。予約ランプと予約時刻は、お風呂が沸き上がるまで点灯します。

お風呂が沸き上がる
と・・・



【保温ランプ点灯】
【現在時刻に戻る】

リモコンが約10秒間ピピピッと鳴ってお知らせします。約4時間保温を続けます。保温時間を変えるときは・・・

☞ P36 「保温時間を変えるとき」

予約運転について

- 予約時刻は、現在時刻より1時間以降の時刻に設定してください。
- 予約時刻を設定する際、**すむ** **もどる** の最後の操作から約10秒経過した場合と、もう一度 **予約** を押したときは、現在時刻表示に戻り、予約運転は開始されませんのでご注意ください。
- 一度設定した予約時刻は変更するまで記憶しています。
- 予約運転中は、現在時刻の変更はできません。
- 次のようなときは予約時刻にお風呂が沸き上がらないことがあります。
 - ・自動運転中に給湯やシャワーを使用したとき。
 - ・冬期、ふろ温度を高く設定したとき。
 - ・予約時刻を現在時刻の60分以内に設定したとき。
 - ・水温、水圧、ふろ設定湯量によっては予約時刻に沸き上がらない場合があります。
- 予約運転をやめるときは、もう一度 **自動** を押すか、**運転** を「切」にしてください。

保温時間を変えるとき

自動運転の保温時間を変更することができます。お買い上げの際は4時間に設定してあります。

浴室リモコン

1. **運転** が「切」のとき、**自動** を約1秒間押す。

2. **すすむ** **もどる** で保温時間を設定する。

設定されている保温時間が表示されます。

【保温ランプ点灯】 【保温時間点灯】 (例：4時間)

【例：6時間】

3. **自動** を押す。

【3秒後消灯】 【3秒後 現在時刻に戻る】

設定が完了しました。

保温時間について

- 保温時間は0時間（保温なし）、1時間、2時間、4時間、6時間、8時間、12時間のいずれかに設定できます。
- すすむ** **もどる** の最後の操作から約10秒経過すると、**自動** を押さなくても保温時間が確定し、現在時刻表示に戻ります。この場合、最後に表示されていた保温時間に設定されます。

お風呂のお湯を抜いたあと

浴室リモコンの**クリーン**を押すと、風呂配管内に残ったお湯が循環口から排出されます。次にお風呂を沸かすときに新しいお湯に残り湯が混ざることがなく、きれいなお湯で入浴できます。

準備

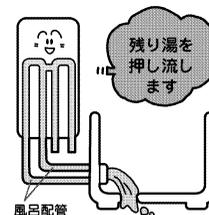
1. **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します

浴室リモコン

1. **クリーン** を押す。

1 浴槽の排水栓を抜き、浴槽を空にする。

2 **クリーン** を押す。
循環口から約6リットルのふろ温度のお湯が出たのち、約10秒間機器内のポンプがはたらいて風呂配管内のお湯を洗い流します。排出が終わると自動的に停止します。



クリーン運転について

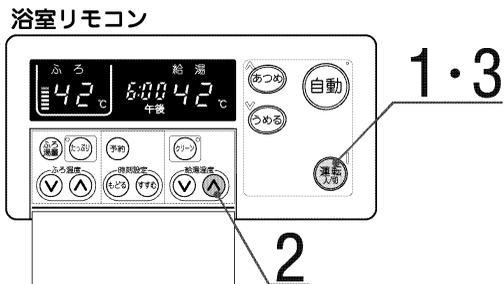
- ふろ温度によっては熱いお湯が出ますので、やけどにご注意ください。
- 自動運転やあつめ運転、うめる、たっぶり、予約運転中、給湯やシャワーの使用中は**クリーン**を押してもクリーン運転しません。また、クリーン運転中に上記のスイッチを押したり、給湯やシャワーを使用したりするとクリーン運転は解除されます。
- 浴槽に循環口の上までお湯（水）が入っているときは、**クリーン**を押してもクリーン運転しません。
- クリーン運転を行わない場合でも、**クリーン**を押すとスイッチ横のランプが点灯することがあります。
- クリーン運転をやめるときは、もう一度**クリーン**を押してください。
- お風呂のお湯を抜いた後クリーン運転をしないと、次に給湯やシャワーを使用した際、風呂配管内に残った水が循環口から出ます。ただし、風呂配管の長さによってはクリーン運転終了後でも循環口から水が出ることがあります。

お知らせ音の音量を変えるとき

リモコンのお知らせ音について音量を変えることができます。

準備

1. を押し「入」にする。
表示部が点灯します。



1. が「入」のとき、 を約3秒間押す。
 【E [ランプ点灯]
Eが点灯しないときは、一度 を「切」にし、準備からやりなおしてください。
2. 給湯温度の で音量を設定する。
 【例:L3】
▲を押すごとに表示が L2(中音量)、L3(大音量)、L1(小音量)、L2(中音量)・・・と変わります。
3. を押す。
 【消灯】
設定が完了しました。

リモコンのお知らせ音の種類について

操作音の音量は変更できません。

ピッ	操作音	スイッチを押したときに鳴ります。
ピピッ	お知らせ音	給湯温度を60℃にしたときに鳴ります。
ピピピピッ		自動運転中お風呂が沸き上がると鳴ります。
ピ——		機器や使用方法に不具合があったときに鳴ります。

音量について

- お買い上げの際は、L2(中音量)に設定してあります。
- 音量を小さくすると、お知らせ音が聞こえにくいことがありますのでご注意ください。
- 一度設定した音量は変更するまで記憶していますが、停電または電源プラグを抜いたときはL2(中音量)に戻ります。

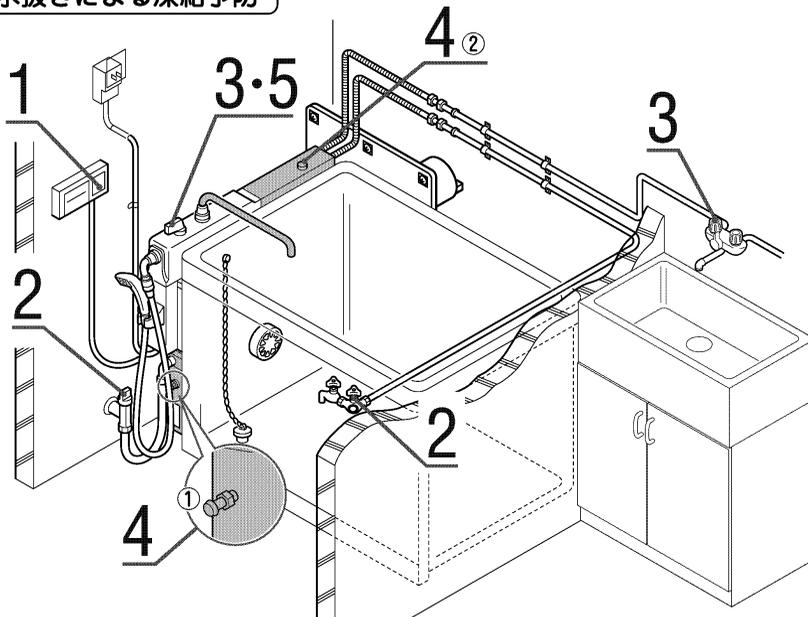
スイッチをまちがえたとき

- まちがえて を押したときは、 を押し音量設定の表示に切り替えてください。

凍結による破損を防ぐために／長期間使用しないとき

冬期は暖かい地域でも機器内の水が凍結することがあり、破損事故・水漏れ故障の原因となります。このようなことを防ぐため、凍結予防の処置をしてください。凍結予防の処置をしないで機器が破損したときの修理は保証期間内でも有料です。機器を使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、水抜きは必ず機器が冷えてから行ってください。また、旅行などで長期間使用しない場合にも、必ず水抜きによる凍結予防を行ってください。給水・給湯など配管設備が凍結すると、機器の故障の原因となることがあります。配管設備の凍結予防も同時に行ってください。

水抜きによる凍結予防



⚠ 注意

やけどに注意

●水抜き栓から高温のお湯が出ることがありますので、ご注意ください。



1 リモコンの を押し「切」にする。

2 ガス栓・給水栓を閉じる。
右いっばいに回します。

3 すべての給湯栓を全開にする。
機器の出湯栓切替レバーは に合わせてください。
給湯配管をしている場合は、配管先の給湯栓をすべて全開にします。

4 水抜き栓①を外し、水抜き栓②を外す。
水抜き栓から1リットル以上の水またはお湯が出ます。
外した水抜き栓①②は、なくさないようにしてください。

5 出湯栓切替レバーを に合わせ、シャワーヘッドを低くしてホース内の水を抜く。



6 浴槽の排水栓を抜き、浴槽を空にする。

7 を押して「入」にし、浴室リモコンの を押して、故障表示が点灯するまで空運転をする。

8 を押して「切」にする。

再び使用するまでそのままの状態にしておく。

長期間使用しない場合は、漏電ブレーカーをコンセントから抜いてください。
 P43「再び使用するとき」

●凍結による機器および付帯設備の故障を防ぐため、配管の凍結予防も必要です。
 P42「付帯設備の凍結予防」

凍結による破損を防ぐために／長期間使用しないとき

給湯栓または出湯管から水を流す凍結予防

給湯栓または出湯管から水を流すことにより、機器本体だけでなく給水管の凍結予防もできます。

① リモコンの運転スイッチを押して「切」にする。

② ガス栓を閉じる。

台所や洗面所に給湯配管している場合

③ 給湯配管先の給湯栓を開いて、1分間に約400ミリリットルの水を流す。

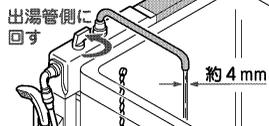
※サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。



台所や洗面所に給湯配管していない場合

③ 出湯栓切替レバーを「」に合わせて出湯管から水を流す。

④ 給水元栓を絞り、出湯管からの流量が1分間に約400ミリリットルになるように給水元栓の絞り具合を調整する。



※流量(水の出具合)が不安定になることがあります。念のため、30分くらい後にもう一度流量(水の出具合)を確認してください。

浴槽に水を流すと、浴槽から水があふれることがあります。

■ 次にお湯を使用したりお風呂に入る際には、下記の順番で準備してください。

① 出湯栓切替レバーを「止」の位置に戻してください。

② 給湯配管をしている場合にはすべての給湯栓を開めてください。

※サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、設定温度を元に戻してください。

③ 給水元栓を絞っていた場合には、給水元栓を全開にしてください。

④ ガス栓を全開にしてください。

⑤ リモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。

⑥ それぞれのページを参照し、機器を使用してください。

※給湯栓の閉め忘れなどにより、壁を汚したり、階下をぬらしたりした場合の修理・補修費用はお客さまの負担となります。

お願い

水抜きをしたあとは

● 水抜きをした後は浴槽に水をはらないでください。
循環口から水が逆流し、水抜き栓からの水漏れや機器の凍結の原因となります。

付帯設備の凍結予防

● 水抜きによる凍結予防だけでは給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防はできませんので、保温材を巻くなどの処置をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。

● 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」などを配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。

● 凍結予防をしないで機器が破損したときの修理は保証期間内でも有料です。

再び使用するとき

水抜きによる凍結予防をした場合には、以下の手順で使用を再開してください。機器本体および配管などが凍結している可能性のある場合には特に下記の「凍結したときの処置」をご覧ください。

1 出湯栓切替レバーを「止」に戻す。

給湯配管をしている場合は、配管先の給湯栓全てを閉じます。

2 水抜き栓①・②を元通り閉じる。

3 P18～19「初めて使うとき」にしたがう。

凍結したときの処置

- 凍結したときは機器を使用しないでください。
- 凍結したときはガス栓・給水栓を閉じ、出湯栓切替レバーを「」か「」に合わせて、解凍するのを待ってください。
給湯配管をしている場合は、給湯配管先の給湯栓を開けてください。
- 給水栓を開け、出湯栓切替レバーを操作して正常に水が出るようになれば、給湯することができます。
- 特に寒い場合など、給湯が可能であっても、風呂配管が凍結している可能性があります。浴槽への最初のお湯はり、出湯管から行ってください。

- 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。

階下をぬらすと、近隣に迷惑をかけるだけでなく、多大な修理・補修費用がかかります。これらの費用はお客さまの負担となります。水漏れなど異常に気づいたときは・・・

P10「異常時の処置」

⚠ 注意

再び使用するときのご注意

- 水抜き栓は元通り確実に閉じてください。
- 閉じかたが不十分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
- 凍結、水抜き栓の閉じ忘れによる水漏れで、壁を汚したり、階下をぬらした場合の修理・補修費用はお客さまの負担となります。
- 長期間使用しなかった場合、現在時刻・お知らせ音の音量は再セットしてください。

P33「現在時刻を合わせるとき」

P38「お知らせ音の音量をえるとき」

点検のポイント・お手入れのしかた

機器を安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
機器などのお手入れは機器が冷えてから行ってください。

点検のポイント 機器周辺の状態

- 機器のまわりや給排気トップのそばに燃えやすいものはありますか？
- 給排気筒トップがふさがっていませんか？詳しくは・・・
📖P7「給排気筒トップに囲いをしない」
- 浴室の排水口が詰まっていますか？浴室の排水口が詰まると機器内に水が浸入し、故障や事故の原因となります。
📖P8「排水口の詰まりに注意」

点検のポイント 機器の状態

- 機器や配管から水漏れはありませんか？
- 機器や配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器が異常燃焼（点火時や使用時にゴーと音がするような燃焼）していませんか？異常音は聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？万一異常を感じたときは・・・
📖P6「ガス漏れ時の処置」
📖P10「異常時の処置」
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか？
- 漏電ブレーカーは正しく作動しますか？月1回作動確認してください。
📖P17「作動確認をしてください」

機器とリモコンのお手入れ

- 機器やつまみにはむやみに水をかけないでください。
故障の原因となります。
- 機器をお手入れするときには、水にぬらした柔らかい布を固くしぼって軽くふいてください。リモコンの画面を掃除するときは水にぬらした柔らかい布を固くしぼって軽くふき取ってください。
浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
故障の原因となります。

水栓のお手入れ(給湯配管をしている場合)

- 給湯配管をしている場合で、給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部フィルターを掃除してください。
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

お願い

定期点検のすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃焼部等は年1回程度の定期点検をおすすめします。このとき、見えないところにある給気管・排気管の外れ、詰りなどの点検も依頼してください。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
📖P52「サービスを依頼されるとき」

- 万一使用中に異常音、排気に不快な臭い、排気が目にしみるなどの異常に気づいたときは・・・
📖P10「異常時の処置」

お願い

お手入れの際の注意

- お手入れをするときは、機器が冷えてから行ってください。
- 機器やリモコンを洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- けがには十分ご注意ください。
やむをえず、機器と浴槽（壁）との間に手を入れるときは、手や腕を保護してから行ってください。思わぬけがをすることがあります。

- 機器本体はステンレスですがさびることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。
- 機器を使用しないときは、浴室の窓を開けて換気をし、浴室内を乾燥させてください。

点検のポイント・お手入れのしかた

循環フィルターのお手入れ

循環口のフィルターは定期的（月2～4回）に掃除してください。

1 左に回して外す。

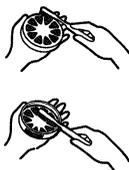


2 循環フィルターを浴槽から取り外す。



3 循環フィルターをブラシなどで掃除する。

表面だけでなく裏面（内側）も掃除してください。



4 ▼マークを合わせてはめる。



5 差し込んで「カチッ」と止まるまで右に回す。



お願い

- 循環フィルターは元通り確実に循環口に取付けてください。フィルターが外れていたり、取付付け方が不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。
- 循環フィルター以外は外さないでください。
- これらを守らずに機器が故障したときの修理は保証期間内でも有料です。

修理を依頼される前に

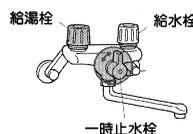
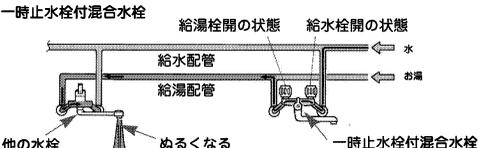
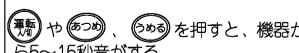
修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

こんなとき	確認してください	ご覧ください こうしてください
リモコンの表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 停電ではありませんか？ ○ 漏電ブレーカーはコンセントに差し込まれていますか？ ○ 漏電ランプが点灯して、漏電ブレーカーが作動していませんか？ 	<p>停電が復帰するまでお待ちください。</p> <p>📖 P18「初めて使うとき」</p> <p>📖 P17「もし、漏電ランプが点灯したら…」</p>
お湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漏電ブレーカーはコンセントに差し込まれていますか？ ○ ガス栓は全開になっていますか？ ○ (電源) が「入」になっていますか？ ○ 給湯栓をしぼりすぎていませんか？ ○ ガスメーターの安全装置（マイコンメーター）のランプが点滅していませんか？ 	<p>📖 P18「初めて使うとき」</p> <p>📖 P20「お湯を使うとき」</p> <p>📖 P8「お湯を使うときはやけどに注意」</p> <p>マイコンメーターの取扱説明書にもとづき、メーターを復帰させてください。</p>
お湯の出が悪い (給湯栓を開けても何も出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給水栓は全開になっていますか？ ○ 配管内に空気が残っていませんか？（初めて使うとき、断水、水抜き後など） ○ 出湯栓切替レバーはマークの位置に合っていますか？ ○ 給湯栓の先端にあるフィルターにゴミが詰まっていますか？ ○ 断水していませんか？ ○ 凍結していませんか？ ○ 出湯管から水を流す凍結予防の処置を行つために給水元栓を絞っていますか？ 	<p>📖 P18「初めて使うとき」</p> <p>給湯栓の「開・閉」操作を2～3回くり返してください。</p> <p>水栓の取扱説明書にもとづき、フィルターの掃除をしてください。復帰するのを待ちください。</p> <p>📖 P43「凍結したときの処置」</p> <p>給水元栓を全開にしてください。</p>
適温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ リモコンの給湯温度はお好みの温度に設定されていますか？ ○ リモコンの給湯温度が低めになっていませんか？（サーモスタット式水栓をご使用の場合） ○ 水温が高いときに、給湯温度を低く設定していませんか？ 	<p>📖 P20「お湯を使うとき」</p> <p>ご希望の温度より高めに設定してください。</p> <p>📖 P12「水栓について」</p> <p>📖 P8「お湯を使うときはやけどに注意」</p> <p>📖 P9「他の機器との接続について」</p>
設定したふる温度・ふる湯量にならない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 循環フィルターはきちんと取付けてありますか？ ○ ゴミがつまっていますか？ 	<p>📖 P46「循環フィルターのお手入れ」</p>
あつめ運転ができない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浴槽の循環口より上に水が入っていますか？ 	<p>浴槽の循環口から5cm以上になるようにお湯を足してください。</p>

こんな場合は故障ではありません

こんな場合は故障ではありませんのでご安心ください。

こんなとき	こんな理由
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで、細かい泡となって出てくる現象です。ピールやサイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
お湯を使うと浴槽の循環口から水が出る。	機器内の水が膨張して出てくるためか、過圧防止安全装置のはたらきによるもので、異常ではありません。 お湯を使うと、機器内にたまっている水が熱で膨張して浴槽内に水が押し出されることがあります。また、給湯栓を閉じたときに機器内に高い圧力が生ずることがあり、このとき機器を保護するため過圧防止安全装置がはたらいて機器内にたまっている水を押し流し、浴槽内に水が流れ出ることがあります。
寒い日に給排気トップから白い湯気が出る。	冬期には、排気に含まれる水蒸気が冷やされることによって小さな水滴に変わり、白く見えることがあります。冬にはく息が白く見える現象と同じで異常ではありません。
点火または消火後に機器からポコンと音がする。	機器の側板・天板などが熱によって膨張、収縮するとおこる音です。異常ではありません。
出湯栓切替レバーを「止」に戻したとき、または給湯栓を急に閉じたときに（給湯配管をしている場合）ゴツンと音がする。	水圧が高い地域で、水が急に止まるために発生する音です。ゆっくり操作してください。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない。（給湯配管をしている場合）	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。

こんなとき	こんな理由
お湯にならない。または、リモコンの設定温度よりぬるいお湯が出る。（給湯配管をしている場合）	一時止水栓付の混合水栓を使用している場合や全自動洗濯機に混合水栓を接続しているお宅では、使用後給湯栓・給水栓を閉じてください。 ○一時止水栓で止めたままにしたり、全自動洗濯機に接続してある水栓を開けたままにしておく、他の水栓（洗面所や台所）でお湯を使うとき、水が給湯側に流れ込み使用する水栓側がお湯にならなかったり、ぬるくなってしまう。
 <p>一時止水栓付混合水栓</p> <p>給湯栓 給水栓</p> <p>一時止水栓</p> <p>*一時止水栓は使用中の一時止水のときのみご使用ください。</p>	 <p>一時止水栓付混合水栓</p> <p>給湯栓開の状態 給水栓開の状態</p> <p>給水配管 給湯配管</p> <p>水 お湯</p> <p>他の水栓 ぬるくなる</p> <p>一時止水栓付混合水栓</p>
給湯栓をしぼると水になる。（給湯配管をしている場合）	給湯栓をしぼりすぎると（1分間に2.7リットル以下）水になります。
給湯栓を閉じても機器からしばらく音がする。	次の使用にそなえて機器が準備をしているためで、異常ではありません。
 <p>運転 や（つめ） ぬる</p> <p>運転ボタン、や（つめ）、ぬるを押すと、機器から5～15秒音がする。</p>	
出湯管またはシャワーからお湯が出る際、ごく短時間、循環ポンプの作動する音がする。このとき、循環口からごく少量の水が出る。	この製品は、追いだきのときに浴槽のお湯を循環させるための「循環ポンプ」を内蔵しています。循環ポンプの性能を維持するため、追いだき以外のときにも瞬間的に循環ポンプが作動するよう設計されているためで、異常ではありません。
 <p>電源</p> <p>電源を「入」から「切」にした際、ごく短時間、循環ポンプの作動する音がする。</p>	
自動運転中に、浴槽の循環口からのお湯はりが途中で停止する。	機器が湯量を計算しているためで、異常ではありません。

こんな場合は故障ではありません

こんな場合は故障ではありませんのでご安心ください。

こんなとき	こんな理由
自動運転をしても設定湯量にならないことがある。	次のようなときは設定した湯量にならないことがあります。 ・残り湯が循環口より下にあるとき。残り湯の分だけお湯の量が増えます。 ・残り湯が設定温度に近いとき。お湯はりしませんが、残り湯が循環口より上にあるときに  を押した場合、機器はまず、あとどのくらい湯はりすれば設定湯量になるかをしばらくのあいだ確認します。その最中に給湯やシャワーを使用すると、設定湯量にならないことがあります。 ※残り湯が循環口より上にあるときは、沸き上がりの湯量が、そのときの条件で多少変動することがあります。
給湯温度や湯量（お湯の出具合）が一時的に変化する。	2力所でお湯を使用すると、給湯温度や湯量（お湯の出具合）が変化することがあります。
給湯やシャワーを使っていて、一度止めてから再び使用するときに、最初冷たい水が出て、しばらくしてからでないとお湯にならない。	機器の状態により、やけど防止のため高温のお湯が出ないように制御をしているためで異常ではありません。
お風呂を沸かすのに時間がかかる。	浴槽に残り湯がある状態で自動運転やあつめ運転を行うと、浴槽が空のときと比べてお風呂を沸かすのに時間がかかる場合があります。給湯能力よりも追いつき能力のほうが低いためであり異常ではありません。 (残り湯の湯温が低いほど時間がかかります) 給湯やシャワーを使用していると、自動運転やあつめ運転に時間がかかることがあります。
湯量（お湯の出具合）が少ない	機器に供給される水の温度が低く、設定した給湯温度が高いときなどは、機器が湯量を少なくするよう制御してお湯の温度を維持します。
あついお湯にならない	機器に供給される水の温度が非常に低いときなどは、60℃に設定しても、設定温度にならないことがあります。 この機器の最大能力は、水温を40℃上昇させる場合で、湯量は毎分4.2リットルです（13Aガスの場合）。P53「能力表」参照。 使用条件によっては、湯量（お湯の出具合）が少ないと感じることもあります。

故障表示

機器や使用方法に不具合のあったときは、自動的に燃焼運転が停止しお知らせ音が鳴ります。
リモコンの時刻表示部には故障表示が点滅します。

故障表示例
(浴室リモコン)



故障表示	こうしてください
0 2 1	給湯・シャワーを連続で90分以上使用すると、運転が停止し故障表示になります。いったん給湯栓を閉じ、再び給湯栓を開けると使用できます。
0 2 2	風呂わかしを連続で90分以上使用すると、運転が停止しエラー表示になります。リモコンの  を一度切り、もう一度「入」にしてから操作してください。
1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 2 2	ガス栓が全開になっているか確認してください。ガス栓を開いたらリモコンの  を一度切り、もう一度「入」にしてから操作してください。 ガスメーターにあるマイコンメーターのランプが点滅していないか確認してください。 ○ランプが点滅しているとき ・マイコンメーターの取扱説明書にもとづき、マイコンメーターを復帰させてください。 それでもなおランプが点滅するときはガス事業者（供給業者）へご連絡ください。 ○ランプが消えているとき ・下記のところへ機器の修理を依頼してください。
2 5 2	浴槽の排水栓を閉じ忘れていないか確認してください。排水栓をきちんと閉じてから、リモコンの  を一度切り、もう一度「入」にしてから操作してください。
4 4 0	機器本体が水に浸かっていないか確認してください。冠水の場合は原因を取り除き、リモコンの  を一度切り、水が引くの待って、もう一度「入」にしてから操作してください。
5 0 2	断水していないかまたは給水元栓が閉じていないか確認してください。断水しているときは、復帰するまでお待ちください。給水元栓が閉じているときは…  P19～20「初めて使うとき」
1 4 0 4 5 0 1 5 1 7 1 0 3 1 1 7 2 1 3 1 2 7 2 2 3 2 1 7 3 0 3 3 1	リモコンの  を一度切り、5分ほどしてからもう一度「入」にし、操作してください。

上記の操作をしてもなお故障表示が出るときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ修理を依頼してください。

アフターサービスについて

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお申し付けください。

■ サービスを依頼される時

●まずP47～51の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を開け、漏電ブレーカーを抜いてから、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

📖別紙「大阪ガスのお問い合わせ先」

●アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをご知らせください。

- 1 お名前・ご住所・電話番号・道順
(近所の目印など)
- 2 品名 531-R936型/531-R937型
(機器前面の品名をご覧ください)
- 3 現象
(リモコン表示部の状態または故障表示番号などできるだけ詳しく)
- 4 訪問希望日・時

■ 保証について

- 保証書は裏表紙および55ページにあります。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証内容をよく読んでください。
- 保証期間経過後の故障については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

■ 機器を移転するとき

- ガス種が異なる地域へ機器を移転される時は機器の調整、改造が必要となります。販売店または転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。ガス種によっては機器の改造ができないことがあります。
- 電源電圧が一致しないときは電気工事店へ電源電圧の変更を依頼してください。
- 増改築などのために機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ず販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 移設・移転に伴う調整や工事の費用は有料です。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。足場などを組まなければ修理できないような高所には設置しないよう設置時に販売店にお願いしてください。

■ 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有償修理いたします。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

仕様表

分類名称		ガスふろ給湯器（シャワー付き・FFタイプ）	
品名	531-R936型	531-R937型	
型式名	SR-652FF		
外形寸法	幅110×奥行654×高さ679(mm)〔突出寸法含まず〕		
外装材質	ステンレス鋼板		
製品質量	25kg		
接続口	ガス	15A(R1/2)	
	給水・給湯	15A(R1/2)	
	風呂(往/戻)	φ13mm循環ホース接続	
※給湯能力	6.5～3.0号		
最低作動水圧	19.6kPa(0.2kgf/cm ²)		
最低作動水量	2.7L/min		
希望水圧	78kPa(0.8kgf/cm ²)～490kPa(5.0kgf/cm ²)		
電気関係	電力	AC100V(50Hz/60Hz)	
	消費電力	99W(50Hz/60Hz)	
	点火方式	連続放電点火方式(ダイレクト点火方式)	
制御装置	ガス	ガス比例制御	
	水	水量比例制御	
電源コード長さ	6m		
安全装置	立消え安全装置・空だき安全装置・空だき防止装置・停電時安全装置・過熱防止装置・漏電安全装置・過電流防止装置・過圧防止安全装置・ファン回転検出装置・沸騰防止装置		

※給湯能力はガス種により多少異なります。

●本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)		出湯能力(L/min)	
	ふろ	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
13A	9.07(7,800)	14.5(12,500)	6.5	4.2
12A	8.49(7,300)	13.5(11,600)	6.2	3.9

●本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

●ガスはJISに規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。

●出湯能力は水温・圧力により多少異なります。